

アジ釣り

海の安全推進アドバイザー 小野信昭

日本人にとって馴染み深い庶民的な魚でありながら食味が抜群なアジ。
全国の沿岸部に棲息し、ビギナーでも狙うことのできる身近な魚です。アジは潮通しのいい高根周りに集まり、付近一帯を群れで回遊しながら摂餌行動します。



ボートから狙うにはコマセ(寄せエサ)を撒くことでアジをボートに寄せて釣るのが一般的です。
その際、コマセを利かせるには同じ場所から撒き続けることが大切であり、そのためにはボートをアンカーリングするのが効果的です。

アンカーリングはご存知のとおりロープが繋がれたアンカー(イカリ)をボートから降ろすことでボートを停めることであり、アンカーの自重で、アンカーのフルーク(爪)が海底に突き刺さることで、アンカーが岩礁等に引っ掛かることで・・・など様々なケースで停まることになります。

コマセを撒きながら釣っている間はアンカーリングにより停船できていることはありがたいのですが、釣りを終えてアンカーを回収しようとすると岩礁などに引っ掛かったアンカーが外れずに苦労することがあります。

穏やかな海で、まだ日が高いのなら多少時間を掛けることもできますが、海が荒れ始めた時や日没が近くなったような時には様々なリスクが伴います。

アンカーの回収作業は船首側で行なうことが多いので、特に荒天時は舳先から波がボート内に打ち込むことも考えられます。

実は過去に私自身もアジ釣りの最中に風が強まり始めたので、帰航しようと思ったらアンカーが回収できずに苦労したことがあります。見る見る



うちに海は大荒れとなり、大きく上下動する船首側での回収作業自体に身の危険を感じました。やむなくアンカーの回収を諦め、ロープを切断して大急ぎで帰航しましたが、上陸後に海は一段と大荒れになり、アンカーは失ったものの無事帰航できて良かったとホッと胸を撫で下ろしました。

以上のようなことを踏まえ、ボートアングラの皆さんは以下の項目を注意しましょう。

- 釣り中は常に天候・海況の変化に注意する
- 早めに決断・行動する

帰航判断が遅れると危険な状況の中でのアンカー回収作業になり、通常時よりも時間が掛かります。

また、荒天時は船速を上げられないので帰航時間もかかってしまいます。

釣ることだけに夢中になり、竿先や魚探画面を凝視し、天候・海況確認を怠ることがないように心掛けて頂けたらと思います。